

若年期からの肥満対策の取組みについて

1 胆江地域幼児肥満等連携システムの取組み

(1) 目的

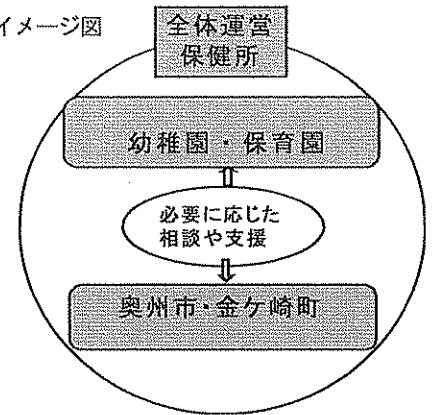
生活習慣病予防のためには、個々人の肥満ややせ等の身体状況の変化に気を配り、生活習慣病につながる可能性がある対象に早期に介入することが必要である。

本システムにより、胆江地域における幼稚園、保育所及び行政が連携して、幼児期における肥満等の早期発見とその改善を促す。

(2) 運営主体

岩手県奥州保健所

システムイメージ図



(3) 実施機関

胆江地区内の幼稚園及び保育所、奥州市及び金ケ崎町

(4) 協力機関

奥州市公立幼稚園協議会、岩手県私立幼稚園連合会奥州地区会、金ケ崎町立幼稚園、胆江地区保育協議会、奥州市私立保育園協議会

(5) システムの内容

幼稚園、保育所は、入所児の身長・体重の計測値を身長体重曲線に記載し肥満ややせの判定を行い、対象児の保護者に情報提供や改善指導の働きかけを行う。

奥州市、金ケ崎町は、働きかけが難しい対象児に必要な応じた支援を行う。

保健所は、会議や研修会の開催、効果的運用にかかる情報収集及び提供を行う。

(6) 取組状況

ア 身長・体重曲線実施施設数 (平成24年10月末現在)

| 区分 | 保育園 | 幼稚園 | 計 |
|--------------|-------|-------|-------------------|
| 対象施設数 | 33 | 29 | 62 |
| 身長・体重曲線実施施設数 | 32 | 18 | 50 |
| 割合 | 97.0% | 62.1% | 80.6% (H23 54.8%) |

イ 年齢別肥満及びやせの数及び指導実施割合 (平成24年10月末現在)

| 区分(人) | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
|---------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 在籍児童数 | 418 | 614 | 611 | 663 | 2306 |
| 肥満の人数 及び割合 | 11人 1.8% | 16人 1.5% | 32人 2.9% | 60人 5.2% | 119人 3.0% |
| 指導実施数 及び割合 | 3人 71.8% | 10人 62.5% | 18人 56.3% | 36人 60.0% | 67人 56.3% |

2 児童・生徒・保護者等のメタボリックシンドロームの普及啓発

| 小学校 | 中学校 | 保護者 |
|---------------------|------------|--------|
| 2校100名(講話、万歩計の貸し出し) | 1校(講話)120名 | 講話 30名 |

3 肥満ハイリスク者への個別指導

中学生 4名

幼児の身長体重曲線（男子）

